一　般　質　問

発言順位	質問者	質問事項		質問の要旨		質問の相手
1	福永　朋宏	1	公共施設再編にあたって町民のためとなる優先順位の再考が必要ではないか（交流拠点施設整備を行政事務庁舎統合に）	①	建物老朽化、人口減少による利用の変化、厳しい自治体財政、社会ニーズの変化から公共施設の再編が課題とされている。現在進行中の三股町公共施設等総合管理計画の状況と今後の計画について (1)第1期実行計画期間における現時点までの目標削減率の達成状況を問う。 　未達成である場合、その要因を問う。 (2)第2期、第3期実行計画までに目標削減率を達成する見通しはどうか。 (3)町長はこの状況と公共施設の再編をどのように捉えているか。	町長
				②	三股町役場庁舎は建設から55年が経過しており、行政を担う建物として課題があると考える。老朽化、耐震性能及び業務継続性能、執務体制、バリアフリーの点から現状、課題について (1)老朽化の現状と今後必要な大規模改修の計画は。 (2)旧耐震構造補強改修後の耐震性能と業務継続性能は。 (3)町民の個人情報保護の点から現在の窓口形態や相談スペース確保の現状はどうか。 (4)執務スペースの狭隘や会議室確保の現状はどうか。 (5)会議公開の原則の点から、議会傍聴席形態の現状はどうか。	町長
				③	三股町中央公民館は建設から53年が経過しており、教育委員会業務を担う建物として課題があると考える。老朽化の現状、課題について (1)老朽化の現状と今後必要な大規模改修の計画は。	町長 教育長
				④	交流拠点施設整備事業で解決される行政の課題について (1)町民ワークショップで出された町の課題はどのようなものがあったか。 (2)町が本事業の実施で解決に向かうと設定している課題は。	町長

一　般　質　問

発言順位	質問者	質問事項		質問の要旨		質問の相手
2	中原　美穂	1	大規模災害時における行政機能と防災拠点のあり方について	①	代替災害対策本部における行政機能継続の実効性について 現庁舎が使用できない場合の代替拠点として、これまで三股町総合文化施設を活用するとの答弁が示されている。 大規模地震により現庁舎が使用不能となった場合、総合文化施設へ災害対策本部及び必要な行政機能をどの程度の時間で移転し、業務を開始できる想定なのか。 また、電源、通信、情報システム、執務スペース、必要な資機材等について、実際に災害対策本部として機能できる体制が整備されているのか。	町長
				②	夜間・休日に発災した場合の職員参集体制について 夜間や休日に震度6強以上の大規模地震が発生した場合、発災後1時間、3時間、6時間、24時間など時間経過ごとの職員参集見込みを把握しているのか。 また、その人数で災害対策本部の運営、避難所対応、被害情報の収集、町民への情報発信、物資対応等の初動業務を行うことが可能なのか。	町長
				③	非常用電源・水・通信等の継続可能時間について 停電、断水、通信障害等が同時に発生した場合、現在の役場庁舎では非常用電源や備蓄等により、災害対策本部機能を何時間、または何日間継続できる想定なのか。燃料、飲料水、通信手段、職員用備蓄など、それぞれの確保状況と課題は。	町長
				④	実践的な防災訓練について 庁舎が使用できない、停電や通信障害が発生する、夜間・休日に職員が十分参集できないなど、実際の大規模災害を想定した災害対策本部設置訓練や職員参集訓練を行っているのか。実施している場合、直近の訓練で明らかになった課題と、その改善状況は。	町長
				⑤	災害時に役場へ来庁する町民への対応について 大規模災害が発生した際、情報や支援を求めて多くの町民が役場へ来庁することも想定される。町民をどこで受け入れ、誰が対応し、避難所や必要な支援へどのようにつなぐのか。 また、高齢者、障がい者、乳幼児、外国人、ペット同行者等への対応を含め、具体的な受入れ体制は整備されているのか。	町長
				⑥	大規模災害を踏まえた五本松交流拠点施設の防災機能と将来の行政拠点のあり方について これまで町は、五本松交流拠点施設への庁舎機能導入について、考えていないと答弁している。一方で、現在の五本松交流拠点施設の整備が進められる中、災害時の活用についても検討されている。 今回の熊本地震を踏まえ、平時の交流機能だけでなく、大規模災害時における避難、物資の受入れ・配送、給水、行政機能の補完など、防災拠点として五本松にどのような機能を持たせる考えなのか。 また、町はこれまで庁舎機能との一体化は考えていないとしてきたが、大規模災害時の行政機能継続という新たな視点から、現庁舎、五本松交流拠点施設及び将来の庁舎の役割分担について改めて検証し、将来的な行政・交流・防災機能の一体化も選択肢の一つとして比較検討する考えはないか。	町長

一　般　質　問

発言順位	質問者	質問事項		質問の要旨		質問の相手
3	岩津　良	1	町長の公約の実現に向けた工程について	①	【ふるさと納税の目標額について】 (1)公約の4年間で10億円と総合計画の令和12年度3億円との違いをどう整理し、総合計画の目標値を見直す考えはあるか。 (2)既存の返礼品開発や事業者支援に加え、10億円に向けて新たに何に取り組むのか。	町長
				②	【公共施設の再編と管理計画の見直しについて】 (1)本年度で終わる公共施設等総合管理計画の第1期の達成状況はどうか。 (2)公共施設の再編について、第2期計画の見直しの中でどのように検討を進めていく考えか。	町長
				③	【オンデマンド交通の全町展開について】 (1)実証実験を経て運行している内之木場地域での利用状況と課題はどうか。 (2)町内全域への展開について、今後の考えと見通しはどうか。	町長
		2	投票率向上に向けた選挙環境の整備について	①	【投票しやすい環境づくりについて】 (1)町長・町議選の投票率が初めて5割を下回ったことを、町長としてどう受け止めているか。 (2)当日も町内のどこからでも投票できる共通投票所の設置に向けた選挙管理委員会の検討を、町として予算面を含めて支援する考えはあるか。	町長 選挙管理委員長
				②	【選挙公報の発行について】 (1)町の選挙で、候補者の政策を知る公的な手段がない現状を、町長としてどう認識しているか。 (2)都城市や川南町は首長の提案で選挙公報の発行条例を制定しているが、町長として条例を提案する考えはあるか。	町長 選挙管理委員長
		3	家畜伝染病の防疫体制について	①	【町有施設の消毒について】 (1)本年度、町内の野生イノシシ12頭で豚熱の感染が確認され県内最多となっているが、町有施設での消毒の現状はどうか。 (2)設置箇所と交換日を定め、転倒しにくいマットへの更新と、町民への注意喚起を行えないか。	町長
				②	【防疫資材の備蓄と初動体制について】 (1)防疫資材の備蓄状況を、県が市町村に求める平時の備えに照らしてどう評価しているか。 (2)町の防疫マニュアルを見直し、備蓄の基準を定めるべきと考えるが、見解はどうか。	町長
		4	中学校部活動の大会参加への支援について	①	【大会参加への支援の現状について】 (1)中学校部活動の大会参加に対する部活動補助金と激励金の支援実績はどうか。 (2)地域展開が進み、部活動ではなく地域クラブで大会に出る生徒は、どちらの支援の対象となるか。	教育長
				②	【激励金の見直しについて】 (1)所属にかかわらず同じ支援が受けられるよう、両要綱に地域クラブを位置付け、据え置かれている激励金の額を見直せないか。 (2)「アスリートタウンみまた」を掲げる町として、部活動や地域クラブで挑戦する子どもをどう支えるか、見解はどうか。	教育長 町長

一　般　質　問

発言順位	質問者	質問事項		質問の要旨		質問の相手
4	堀内　義郎	1	防災・減災対策について	①	7月発生した熊本地震を受け住宅の耐震化について、耐震改修における現状及び助成の状況はどうか。	町長
				②	改修が困難な場合、「耐震シェルター」や寝室の補強など、一部補修費用の負担軽減は図れないか。	町長
				③	大規模災害を想定した仮設住宅の用地確保は出来ているか。	町長
		2	町道の整備について	①	霧島南部地区広域農道（宮村～梶山線）は舗装から10年経過し劣化のため、騒音や振動が激しくセンター―ラインも消えて危険である。早急に舗装出来ないか。 植木公園北側沿い町道の今後の整備について、白線の引き直しは実施されるのか。	町長
		3	墓地公園について	①	墓苑高才原の利用状況と、公園と残りの区画の維持管理の現状はどうなのか。	町長
				②	永代供養として合葬墓を進めるべきでないか。	町長
		4	町長の政治姿勢について	①	所信表明において、未来世代とつくる「できた！」がどんどん増えるワクワクする未来について、「できる事が増える楽しさ」を実感できる仕掛けを町内各所につくるとあるが、具体的な内容と五本松交流拠点施設での「学び」の機能としての取り組についてはどうなのか。	町長
				②	「誰かを応援する力が未来を動かすまち」として、農林業を含めた産業施策の強化について具体的な取り組みは。 又、企業誘致により経済を強くとあるが、工業団地化の取り組みはどうなのか。	町長
				③	ふるさと納税をはじめとする自主財源の確保について、今後の目標額と返礼品の開発や業者の育成についての取り組みはどうなのか。	町長
5	大河内　亮	1	三股町内の自転車の走行について	①	2026年4月1日から道路交通法が改正、施行され、自転車の交通違反に関して、交通反則通告制度（「青切符」）が導入され、取り締まりが強化されたことについて （1）現在の町内の検挙者の状況はどうなっているか。 （2）違反者数の削減のための対策はどうなっているか。	町長 教育長
				②	町内の自転車通行者に向けた交通安全教育（研修）について （1）道路交通法の改正内容や保険加入義務の周知、安全走行に関する教育を目的とした講習会を開催する予定はあるか。 （2）特に外国人の自転車通行者への周知はどうするか。	町長 教育長
				③	町内の中高生の通学上の自転車通行について （1）事故防止対策や、パンク修理の補助、悪天候下の走行に関して、行政からの支援策は、どのように講じるか。	町長 教育長
				④	自転車と自動車の接触事故について （1）現在の町内の自転車と自動車の接触事故の件数はどうなっているか。 （2）町内で自転車と車の接触事故を防ぐために、今後どのような対策を講じようと考えているか。	町長 教育長
				⑤	交通弱者への支援策について （1）町内で何らかの理由で自動車を所有できず、自転車通行をしている町民に対して、今後、行政からの支援策はあるか。 （2）歩道内の自転車と小学生の歩行者の接触事故に関して、未然に防ぐためにどのような対策が講じられていくのか。	町長 教育長

一　般　質　問

発言順位	質問者	質問事項		質問の要旨		質問の相手
6	上西　雅子	1	子育て支援における「無償化」の公約について	①	町長選挙の際、公約として「2027年度までに保育料の完全無償化」を掲げ当選した。 公約実現に向けた、今後の計画について質問する。	町長
				②	①同様、医療費無償化を4年内に18歳まで拡大する公約を掲げていた。実現に向けた今後の計画について質問する。	町長
				③	上記2つの実現に向け、財源確保の見通しについて質問する。	町長
				④	前町長は、ふるさと納税を増やしていく事で、3つの無償化（①保育料完全無償化、②高校卒業時までの医療費無償化、③小中学校の給食費完全無償化）をしていく事を掲げていたが、就任中には実現出来なかった。 町長はこの事を踏襲されるのか、その考えについて質問する。	町長
		2	保育所等の広域入所の現状と今後の方向性について	①	6月に行われた保育所等施設関係者に対する表題の説明会で、これまで受入れ対象としていなかった緊急性の高い町外空き待ち児童の受入れに関しての説明があったが、その説明会に至る経緯について質問する。	町長
				②	①の質問で言うところの「緊急性の高い町外空き待ち児童」数について質問する。	町長
				③	本説明会で、広域入所の緩和を行う場合は利用定員数を増やすか、施設間の調整が必要である、との説明があったと聞く。 定員数を増やせば、その分保育士の確保をしなければならず、施設側は安易に定員数を増やす事はできないとの声が届いている。 今後ますます少子化が進む事で、持続的・安定的に運営ができるのか危機感を感じている施設は多い。 その事についてどう考えるか、質問する。	町長
		3	災害時の避難所設置・及び対策について	①	以前の一般質問で、福祉避難所が町内に1か所しか設置されていない事について質問したところ、課題として捉え、増設に向けて進めて行く旨の答弁があった。 その後増設されたのかどうか、質問する。	町長
				②	①の答弁に関し、理由について質問する。	町長
				③	災害で断水になった時の、水の確保はどうなっているのか、質問する。	町長
7	新坂　哲雄	1	農地対策について	①	田上地区は、高齢化と担い手不足で農地を保ってきた仕組みが限界に近づいていて、田んぼや水路が荒廃しているが、行政が地域と一体となって農地を保全するための対策を講じる考えはないか。	町長
				②	前回の一般質問で、荒廃地の件で農家と協議をするとのことであったが、その後の状況は。	町長
		2	デマンド交通について	①	デマンド交通について、免許返納者の増加に伴い、各集落から運行を望む声があるが、今後見直しは出来ないか。	町長
		3	健康管理センターについて	①	健康増進器具が撤去されているが、今後、設置予定はないのか。	町長